

# 土砂災害編

## 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、大雨、長雨、融雪、地震などがあつたときに、山やがけなどの斜面が崩れて下に落ちていく災害です。近年は増加傾向にあり、突然発生し、被害が大きいことが特徴としてあげられます。

危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識を得ておくことが大切です。

### がけ崩れ（急傾斜地崩壊）



地面に雨水や雪解け水が大量にしみこんだり、地震の揺れにより、急な斜面が突然一気に崩れ落ちる現象。

### 土石流



山や谷の土や石が大雨などで崩れ、水と混じってどろどろになり、激しく流れていく現象。

こんな前ぶれ現象が起きたら注意！ 周りの人にも知らせて早急に避難しましょう！



斜面から水が湧き出す。



小石がぱらぱら落ちてくる。



斜面にひび割れができる。



山鳴りがしたり、ドーンという音、ゴロゴロという音がする。



雨が降り続けているにも関わらず、川の水位が急激に下がる。



川の水が濁り、流木が発生する。

## 土砂災害警戒区域の確認を！

日頃から自分の住んでいる周りや避難所までの経路に土砂災害警戒区域等があるか、ハザードマップで確認しておきましょう。

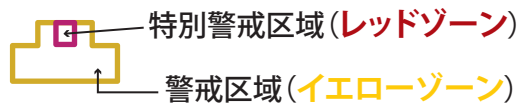
### 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは、法律に基づいて、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害を防止するために避難体制の整備を行う区域です。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）とは、建物が破壊されるなど、住民に大きな被害が生じるおそれのあることから、土地利用に制限等をかけた区域です。

### ハザードマップでの表記のしかた

土石流



がけ崩れ  
(急傾斜地崩壊)

